

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ダウン症の天才書家「金澤翔子」の歩みと障がい者交流事業
事業主体 (連絡先)	高山村
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,223,000円 (うち支援金: 745,000円)

事業内容

- ① 「金澤翔子書展」及び席上揮毫の開催
 - ・書展 平成27年11月14日(土)～21日(土)
 - ・入場者 769人 (一般457人/その他312人)
 - ・席上揮毫 平成27年11月15日(日)
高山小学校・体育館 入場者500人
- ② 障がい者との交流
 - ・運営ボランティアとしての参加。
 - ・金澤氏親子と、障がいをお持ちの方やそのご家族との交流の場として、揮毫会やサイン会を設営。



【席上揮毫】

【目標・ねらい】

- ① 「金澤翔子書展」、及び席上揮毫の開催
- ② 金澤親子と、障がい者やそのご家族との交流

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 「時の人」でもある金澤翔子さんの書展が、人口7300人の村で実現でき話題性が高かった。
- ② 揮毫会やサイン会では、金澤親子とのふれ合いにより、元気づけられる場面がみられた。
- ③ 運営ボランティアとして村内ダウン症親の会の協力を得られた。
- ④ 来場アンケートから、入館者の多くの方が時間をかけて作品を鑑賞し深い感動を受けたようである。また、家族に障害を持つ方の入場が目立った。

※自己評価【 A 】

【理由】

金澤氏親子の多忙なスケジュールの中、来村が実現でき、障がいを持つ方やご家族との交流の場が実現できた。また、予想を上回る入場となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・村民一人ひとりの文化・芸術への関心をより一層高めるとともに、楽しさや感動、精神的な安らぎを得る事で、生きる喜びが得られ、感性や想像力を育てていくため、今後も質の高い芸術作品に触れる機会を提供していく。
- ・多くの運営ボランティアに関わっていただいた経験を生かし、より村民と一体の文化振興を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある